

過去最大!

新たな未来に向けた

元気都市 創造予算

令和6年度

本市では、皆さんに納めていただいた税金をどんなことにどれだけ使うのか、毎年、計画（予算）を立てています。今回の特集では、今年度の予算のポイントや具体的な使い道（事業）についてお伝えします。

(数字は端数調整している部分があります)

今年度の予算は
どんな使い方をするのかな?



予算額(総額)
2,978億2,840万円 (前年度比+4.5%)

一般会計

1,373億2,000万円
(前年度比+5.7%)

行政運営の基本的な経費を計上する会計(子育てや教育、防災、福祉、道路整備など)

特別会計など

878億4,140万円
(前年度比+2.1%)

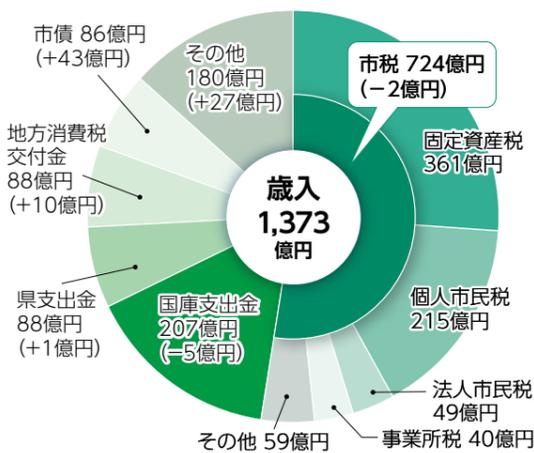
一般会計とは区別して経理する会計(国民健康保険、介護保険、競輪の運営など)

企業会計

726億6,700万円
(前年度比+5.2%)

地方公営企業法に基づく公営企業を経理する会計(上下水道、市立四日市病院、農業集落排水事業)

一般会計



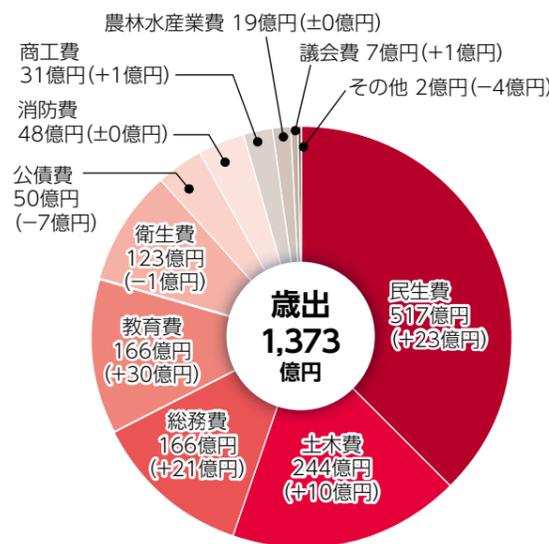
人口30万人以上の都市に立地する一定規模以上の事業所にかかる税金

主な使い道

- 道路の整備に……… 24億1,891万円
- 学校などの整備に……… 13億778万円
- 保育所などの整備に……… 2,790万円

主な増減

- 市内企業の大規模設備投資の減価償却が進んだことによる固定資産税の減
- 小・中学校の大規模改修などによる市債の増



主な増減

- 小・中学校の空調設備整備事業費や大規模改修事業費などによる教育費の増
- 障害児通所事業費や子ども医療費などの増による民生費の増
- 温水プール改築工事や定年延長の影響による一般職退職手当の増などによる総務費の増

市民一人当たり
に使われるお金は?

約45万円*

*市に納められた税金約24万円に、国・県の補助金などを加えた金額を財源として、市民1人当たり約45万円の事業が行われます。

市民一人当たりの内訳
一般会計歳出予算
(目的別)

約447,830円

※令和6年度歳出予算を人口(令和6年3月31日現在)で割った額

民生費

168,672円



高齢者・障害者の福祉、子どもの医療費助成、保育所の整備、生活保護などに使われます。

土木費

79,518円



道路や河川、公園などの整備や維持管理に使われます。

総務費

54,273円



防災や文化振興、スポーツ振興などに使われます。

教育費

54,058円



小・中学校の学校教育や生涯学習の推進などのために使われます。

衛生費

40,084円



健康診断・予防接種などの保健衛生やごみ収集・処理などに使われます。

公債費

16,431円



市の借入金の返済に使われます。

消防費

15,661円



消防・救急活動に使われます。

商工費

10,206円



商工業の振興に使われます。

農林水産業費

6,251円



農業・漁業などの振興に使われます。

議会費

2,150円



市議会運営・活動に使われます。

その他

527円

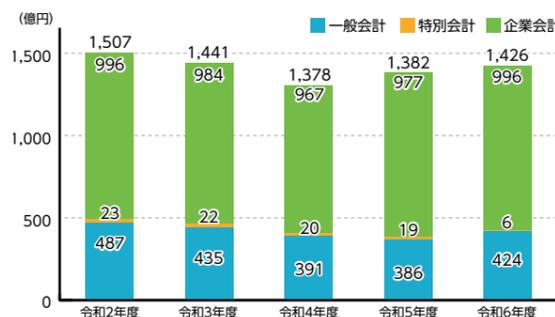


急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金など。

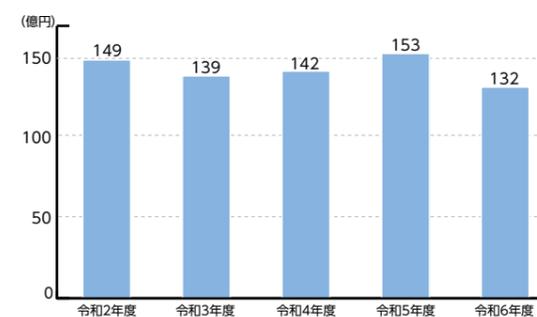
財政の健全化を進めています

本市では、「財政プラン2023」に基づき、持続可能で自立した財政運営を行っています。令和6年度予算では、小・中学校の空調設備整備などに伴って市債残高が増加し、財政調整基金(市の貯金)も減少しましたが、「財政プラン2023」に掲げる、令和6年度末の全会計市債残高1,440億円以下、財政調整基金の残高を標準財政規模の1割から2割の水準とするという目標の範囲内となっています。今後も、引き続き健全な財政運営を行っていきます。

市債(市の借金)残高



財政調整基金(市の貯金)の残高



未来に向けて / 準備・投資の1年に

令和6年度は総合計画の中間見直しの年度であり、基本計画の後半が始まる令和7年度に向けて新規事業構築や既存事業の見直しを行います。また、脱炭素・グリーン社会実現や行政DXによるデジタル化推進など、中長期的な課題への対応を加速するとともに、市民サービス向上や働き方改革推進、公共施設適正化などに取り組むため、積極的な予算編成を行いました。

財政状況が安定している今だからこそ、未来のまちづくりに向けて、しっかりと準備、投資をしていく必要があります。

1. 子育て・教育

やさしく、たくましく、しなやかに生きる力を持った元気な子どもが育つまちへ

拡充 子ども医療費

予算額 **13億2,800万円**

子どもの疾病の早期発見と早期療養を促進するとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、令和6年9月診療分から、子ども医療費助成の対象年齢を「15歳年度末まで」から「18歳年度末まで」に拡大します。



担当：こども保健福祉課

拡充 部活動サポート事業

予算額 **3,406万円**

国が進める休日の学校部活動の段階的な地域移行に対応し、部活動指導員・部活動協力員の配置と、総合型地域スポーツクラブや各種団体・協会などとの連携を図ることで、持続可能な活動と教員の負担軽減を図ります。



担当：指導課

2. 文化・スポーツ・観光

港町としての歴史と文化・スポーツ・観光の息づくまちへ

温水プール整備事業

予算額 **7億9,790万円**

竣工後50年が経過し、プール槽の老朽化や設備などの損傷が著しい昌栄町の温水プール改修工事に着手し、ユニバーサルデザインに対応するとともに、市民が気軽にプールを利用できる環境を提供します。また、公認大会が開催できる環境を整え、競技力の向上を図ります。



担当：スポーツ課

3. 産業・港湾

人とアイデアが融合し、新たな価値が創造されるまちへ

拡充 四日市コンビナート カーボンニュートラル推進事業

予算額 **1億1,682万円**

四日市コンビナートが、カーボンニュートラル社会においても本市の産業基盤として持続的に維持・発展していくために、「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会」の活動を積極的に支援します。また、企業間の連携によるプロジェクト創出や、企業と行政が連携した実証実験などの新たな取り組みを推進します。



担当：工業振興課

4. 交通・にぎわい

誰もが使いやすい交通手段が整い、次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまちへ

中央通り再編事業

予算額 **33億2,103万円**

中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、本格化してきた国の直轄事業「バスタ四日市」の整備とも連携しながら、近鉄四日市駅からJR四日市駅にかけての中央通りの再編と、市民公園の再整備を進めます。



担当：市街地整備課

大学設置調査検討事業費

予算額 **2,800万円** ※当初補正分を含む

JR四日市駅前への大学設置に向けて、令和5年度に策定した基本構想のもとに、教育研究分野など大学・学部の特徴を踏まえた基本計画を策定します。あわせて、施設の規模・配置などについても、基本計画において検討し、JR四日市駅前への大学設置に向けた取り組みを進めます。



担当：政策推進課

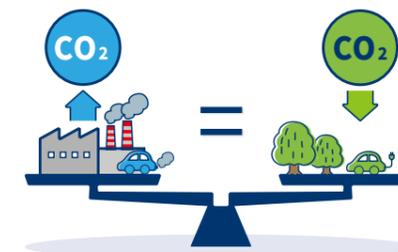
5. 環境・景観

環境に優しく、良質な景観のある持続可能なまちへ

拡充 環境計画推進事業

予算額 **1,539万円**

四日市市環境計画に基づき環境施策の推進を図るとともに、令和7年度の環境計画中間見直しに向けて改定作業に着手します。また、「地域新電力会社」を設立し、クリーンセンターのごみ発電を活用することで、市公共施設から排出される温室効果ガスの削減を図ります。



担当：環境政策課

6. 防災・消防

不測の災害に対しても対応可能な、しなやかで強いまちへ

消防出張所整備事業費

予算額 **2億 5,485万円**

本市の西部地域に設置している北消防署北西出張所および南消防署西南出張所について、独立した消防庁舎を整備し、消防活動拠点の機能強化を図ります。

担当：消防本部総務課



7. 生活・居住

人と人がつながり、自分らしい生活がおくれるまちへ

拡充 住み替え支援促進事業補助金

予算額 **2,057万円**



空き家の除却促進や子育て世帯などの住み替え支援、空き家・空き地バンクの利用促進などによる空き家・空き地の有効活用に取り組むとともに、市街化調整区域の既存集落の維持・地域再生を図ります。

担当：都市計画課

NEW 自治会法人化促進事業費

予算額 **780万円**

自治会の財産の適正な保全に必要な自治会法人化の認可手続きで行政書士に支払う報酬や、不動産登記に係る司法書士への費用などを補助します。

また、法人化に対する自治会の合意形成を図るため、専門家を派遣するなどして、自治会の法人化を促進します。

担当：市民生活課



8. 健康・福祉・医療

地域社会で健やかで幸せに暮らせるまちへ

NEW 带状疱疹ワクチン接種公費助成事業

予算額 **1億 962万円**

加齢などの免疫力の低下により発症頻度が増加する带状疱疹の発症や重症化を予防し、市民の健康づくりを支援するため、带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成します。

担当：健康づくり課



9. 都市経営の土台・共通課題

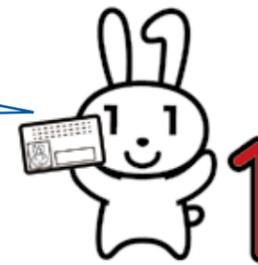
様々な政策・施策を展開していく上で、基本となる都市経営の土台・共通課題

マイナンバーカード取得促進事業

予算額 **2億 1,363万円**

デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及促進を図るため、申請サポート業務委託や出張申請に加えて、福祉施設や支援団体が行う申請サポートやカードの代理交付を進めるなど、より多くの方法での申請機会を提供します。

5月28日(火)
マイナンバーカード
サービスセンターが
庁舎北館に移転します



担当：市民課

行政手続のデジタル化事業費

予算額 **5,395万円**

市役所の窓口で行う各種行政手続について、紙の申請書などに記入せずに申請手続きが可能となる「書かない窓口」の導入準備や、自宅などでオンライン申請が可能なる手続きを拡大するなど、デジタル化を推進します。



担当：デジタル戦略課

拡充 シティプロモーション事業費

予算額 **7,820万円**

各地でシティプロモーションイベントを開催するほか、さまざまなメディアを活用して本市の魅力を発信します。また、本市の地場産品などからこだわりの逸品を集め、販売やPRを通じて魅力を発信する地域ブランド「しすいじっかてん 泗水十貨店」の試験販売や新たな商品の選定を行うなど、令和7年度からの正式販売に向けた取り組みを進めます。

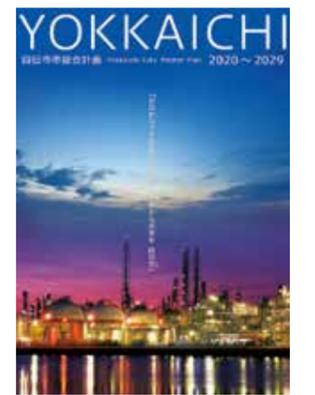


担当：観光交流課

NEW 四日市市総合計画 中間見直し事業

予算額 **900万円**

本市の将来像を描き、その実現のためにどんなことをしていくのかをまとめた「四日市市総合計画（2020年度～2029年度）」について、令和7年度からの後半5年間の計画期間に向けて、前半（令和2～6年度）の進捗状況を検証し、社会情勢の変化などに応じて見直します。



担当：政策推進課